

# 富山県西部圏域連携都市圏形成推進宣言書

平成 27 年 8 月 4 日

高岡市・氷見市・砺波市・小矢部市・南砺市・射水市

## 富山県西部圏域連携都市圏形成推進宣言

富山県西部地域は、富山県の中央部に位置する呉羽丘陵の西部、県内 7 大河川に数えられる庄川及び小矢部川流域並びにこれらの河川が注ぎ込む富山湾の沿岸部に広がる約 1,500k m<sup>2</sup>のエリアである。

この地域は、高岡市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市及び射水市の区域からなっており、庄川峡、砺波平野の散居村、富山湾越しの立山連峰の景観、富山湾の海の幸など、山から海に至る多彩な自然環境に恵まれ、世界遺産・五箇山合掌集落、俱利伽羅源平古戦場、国宝・瑞龍寺といった歴史・文化資産も数多く存在している。

藩政時代には米を中心に財政が運営されており、旧加賀藩であるこの地域では領内各地に藩の年貢米を収納する「御蔵」を設け、ここから舟運、海運といったネットワークによって搬出し、地域経済を発展させた。その後、北前船等によって広域的な交流を広げてきた本地域は、現在も、日本海側拠点港と北陸自動車道、東海北陸自動車道、能越自動車道といった高速道路網を背景に、環日本海に向けた交流拠点としての存在感を有している。

一方で、若い世代の都市部への流出や出生率の低下等による人口減少と高齢化の進展に伴い、各市の中心市街地の空洞化が進んでおり、生産年齢人口の減少とともに農林水産業、製造業を中心とする地域産業の衰退も懸念されている。

国立社会保障・人口問題研究所によれば、富山県西部地域の人口は、2010 年時点の約 46 万人から 2040 年時点では約 33 万人にまで減少するものと推計されており、全国平均 (16.2%) を大きく上回る 3 割近くの減少が見込まれている。

本年 3 月の北陸新幹線の開業により、首都圏からのアクセスが飛躍的に向上し、このエリアが有する地域資源が一躍脚光を浴び、観光交流や企業立地をはじめ、地域経済に利する「ひと・モノ・情報」の大きな流れを生み、地域のポテンシャルは一層厚みを増すことが期待される。

また、新幹線の開業に向けた取り組みを通じて、地域における連携はより強固なものとなっており、未来に向けて地域の資産を共有し、エネルギーを結集していくかなければならないという局面を迎えている。

これまでこの地域では、それぞれの市が自己完結型の都市機能を有しながら、観光、防災、医療、公共交通など、6つの都市を繋ぐ重層的な連携、いわゆる「多極ネットワーク」によって地域を支えてきた。

将来にわたり地域の経済成長を支え、住民の幸せを実現するため、本地域における広域連携は、6つの核に高次の都市機能を集積していくこともとより、高速交通網の活用による地域経済の活性化や多彩な観光資源を活かした交流人口の拡大、豊かな住環境の形成による定住促進など、一層のネットワーク強化を図る必要がある。

高岡市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市及び射水市は、ここに多極ネットワーク型圏域として、富山県西部圏域連携都市圏の形成に向けて取り組むことを宣言する。

平成27年8月4日

高岡市長

高橋正樹

氷見市長

本川祐治郎

砺波市長

夏野修

小矢部市長

桜井森夫

南砺市長

田中幹夫

射水市長

夏野元志

## 富山県西部圏域連携都市圏における取組の方向

### ① 圏域全体の経済成長

富山県西部における地域固有の観光資源や文化の醸成を背景とした戦略的な観光施策、地域経済の裾野拡大等により、各地域の強みを活かした「稼ぐ力」を持つ圏域を構築する。

(施策例)

- ・圏域内産業のマッチングやマーケティング強化による起業・経営支援
- ・観光資源の連携による観光回廊の形成（富山県西部版DMOの推進）
- ・伏木富山港や高速道路網を活かした戦略的な物流ネットワークの形成

### ② 高次の都市機能の集積・強化

鉄軌道、道路、港湾等、圏域内にある広域交通ネットワークの更なる充実により、地域住民の豊かな暮らしを支える医療・福祉、教育等の相互補完を図り、地域全体に波及効果をもたらす魅力ある圏域を形成する。

(施策例)

- ・北陸新幹線開業後の高速・地域交通網を活用したまちづくりの推進
- ・公共交通機関の連携強化・IC化による機能充実
- ・地（知）の拠点大学等との連携による地域人材の育成・若者の定着

### ③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

本地域の多彩な自然環境の保全を図りながら、定住対策と山村振興対策を推進するとともに、地域内外の人々の交流が更に活発になるよう、圏域全体で交流活動の一体的推進を図る。

(施策例)

- ・庄川・小矢部川流域内バイオマス利活用による流域ブランド創出と富山湾の藻場再生プラン（H27 環境省モデル事業）
- ・電子カルテの共有など、ICTを活用した地域医療・健康推進体制の安定化
- ・多彩な地域資源を活かした豊かな住環境の形成・交流人口の拡大